

空き家相談人材育成・相談体制整備事業(神奈川県居住支援協議会)

<h2>課題と目的</h2>	自治体職員が対応する空き家の相談は、利活用の課題のみならず、防災・防犯、景観、地域活性化等、様々な切り口で寄せられる。こうした空き家問題の相談に対応すべく、空き家相談の一元化と汎用化を図るとともに、空き家担当者の「空き家」問題に関する知識の向上を図ることで、各地域における空き家の利活用等につなげる。
<h2>取組内容</h2>	①多岐にわたる空き家相談にワンストップで対応できるテキストを作成 ②テキストを使った自治体職員向けの研修を実施 ③研修を受けた職員が地域の相談会に相談員として参加し、研修の成果を発揮。
<h2>成果</h2>	①自治体職員向け空き家相談テキストの作成 ②テキストを活用した自治体職員向け研修会の実施 ③研修会を受けた自治体職員が、専門家と共に、相談員として空き家相談会を実施

取組内容

■相談テキストの作成

協議会会員と空き家相談協力事業者から多職種によるテキスト作成会議を構成。

自治体等における空き家関連の相談事例を集約し、相談事例に関連する制度や繋ぎ先を取りまとめ、空き家対策部署の職員以外の職員が読んでも「どの問題」を「どこに繋ぐか」等、課題の取りこぼしを防ぐ工夫をした。

■テキストを活用した人材育成講座の開催

(3地域：横浜会場、藤沢会場、厚木会場)

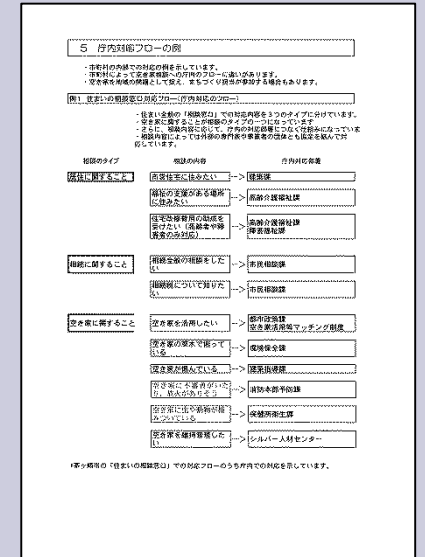
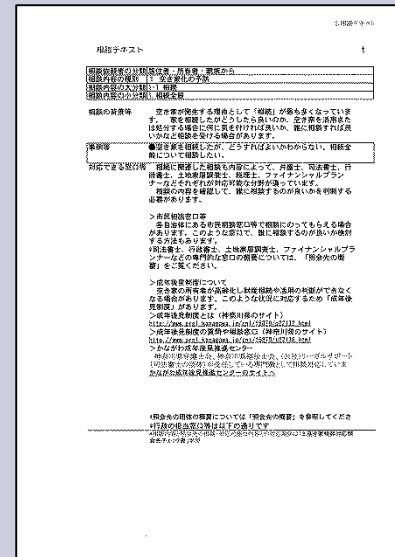
作成したテキストを活用し、協議会会員である司法書士会など専門家団体が講師となり、自治体職員を対象に講座を開催。講義だけでなく、「予防」「利活用」「苦情対応」をテーマにグループ討議も盛り込み、多岐に渡る空き家問題に対応できる人材育成を図った。

■相談事業の実施 (2地域：藤沢会場、鎌倉会場)

上記講座を受講した職員の実践研修として、住民を対象に、空き家予防をテーマとして、人生の「終活」と絡めた講座と相談会を開催。人材育成講座を受講した自治体の空き家担当職員が講座及び相談に対応することで、人材活用とテキスト内容の検証を行うとともに、地域に対する空き家問題の普及活動を行った。

主な成果物：空き家相談テキスト

「誰から」、「どのような相談か」という項目に整理して、事例を挙げ、代表的な対応方法や照会先を12事例抽出して掲載した。
また、先進的な自治体が活用している「庁内フロー」や「相談対応シート」も掲載し、すぐに活用できる資料も掲載した。



テキスト本文

張娜フロー図